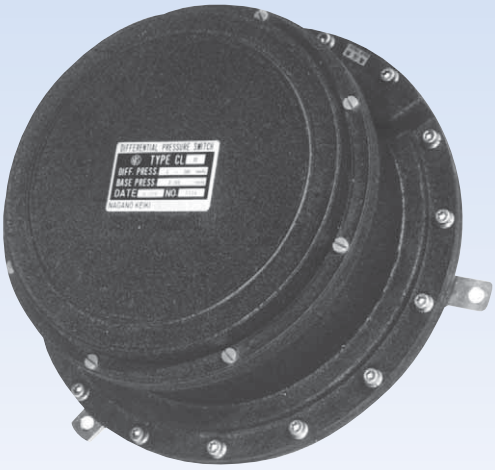
CL11

微差圧スイッチ

Model CL11 Differential Pressure Switch



概　要

本器は、2kPa以下の微差圧を計測するよう設計された差圧スイッチです。
接点には、使用実績が豊富で信頼性の高いマイクロスイッチを使用しています。

特　長

- 微差圧測定用として適しています。
- 大口径ダイアフラムにより大きな駆動力を取出すことができるため、比較的大定格のマイクロスイッチを使用しています。
- 約φ60の設定目盛板を内蔵しており、設定ツマミにより、設定が容易に行えます。
- マイクロスイッチ等の電気部品は、シールベローズにより測定流体とは隔離されています。

※差圧スイッチのご使用に際して
圧力接続口の一方だけに差圧以上の片圧力を加えると、差圧スイッチの機構を破損しますので、注意を要します。特に運転開始と終了時にはこの様になり易いので、バイパスバルブのご使用をおすすめいたします。
※**基準圧**は２ヵ所の圧力の基準となる方の圧力、または変動の少ない方の圧力をいい、**片耐圧**とは、最大過差圧をいいます。

製作仕様1

測定流体：
気　体

使用環境：
通常の状態において、引火・爆発の原因となるような可燃性ガス、または液体の存在のない場所

接続ねじ：
Rc1/4

接ガス部材質：
ダイアフラム　ネオプレン
本　体　　CAC203

差圧レンジ：
0.1～0.5→0.4～2kPa

基準圧：
0～100kPa

片耐圧：
100kPa

使用温度範囲：
－5～40℃（但し、凍結しないこと）

設定精度：
±2%max.P.以内

繰返し性：
±1%max.P.以内

接断差：
固定式　0.05～0.2kPa以下
（差圧レンジにより異なる）

スイッチ：
マイクロスイッチ

接点数：
1接点

設定方式：
内部調整式

電線取出口：
G1/2（コンジットタイプ）

ケース材質・外装：
AC7A・黒色

ケース構造：
防滴形

質　量：
約12.5kg

製作仕様2

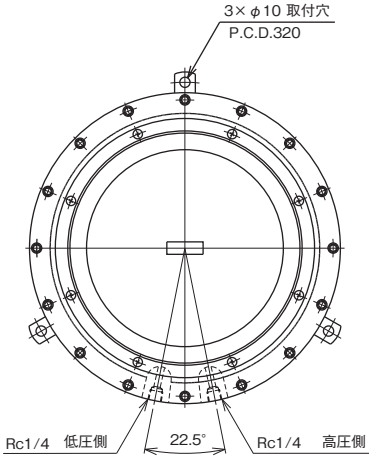
接断差：

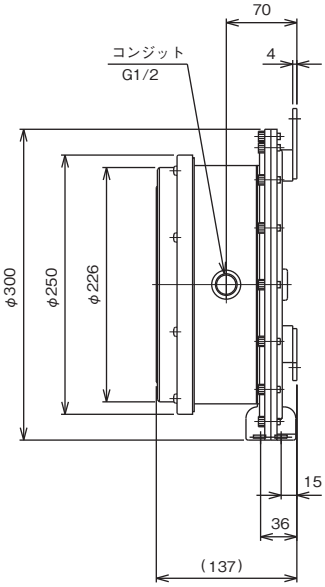
差圧レンジ kPa	接断差 kPa
0.1 ～ 0.5	0.05以下
0.2 ～ 1	0.1 以下
0.4 ～ 2	0.2 以下

電気的特性：

定格			耐電圧	絶縁抵抗
	抵抗負荷	誘導負荷		
125V AC	15A	15A	1500V AC 各端子とケース間 1分間	500V DC 100MΩ以上 各端子とケース間
250V AC	15A	15A		
125V DC	0.5A	0.05A		
30V DC	2A	1A		
・誘導負荷は、力率0.4以上（AC） 時定数7ms以下（DC）				

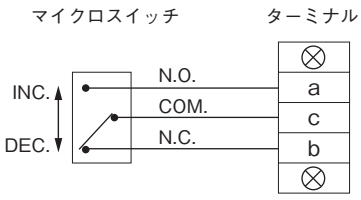
外形寸法





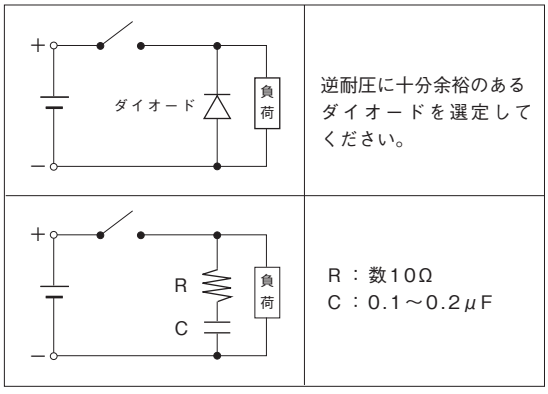
接点方式及び結線方法

接点形式	記号	作動方式及び作動図
上限一接点	H	差圧が上昇して設定圧力に達すると接点が作動し回路がONとなる。 昇圧→ OFF ON 0 SET max.
下限一接点	L	差圧が下降して設定圧力に達すると接点が作動し回路がONとなる。 ←降圧 ON OFF 0 SET max.



接点保護回路の挿入：

誘導負荷開閉の回路では接点保護のため、保護回路を挿入してください。
リレーを使用する場合は、接点保護回路内蔵形を選定ください。



形番構成

ご用命に際しては、形番、各仕様及び差圧レンジをご指定ください。

モデルNo.

C L 1 1	—	1	7	1	—				B			×	×	×	×	×	
微差圧スイッチ		①	②	③		④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
形番						選択仕様				付加仕様（オプション）							

① 取付方式	1	壁掛形
② 接続ねじ	7	Rc1/4
③ 接ガス部材質	1	ダイアフラム：ネオプレン 本　体：CAC203
④ 差圧レンジ（kPa）	1	0.1～0.5
	2	0.2～1
	3	0.4～2
⑤ 接点	A	H：上限１接点
	B	L：下限１接点
		その他指定
⑥ スイッチ	0	標準形
	1	超高感度形
	3	標準形＋金メッキ
	4	超高感度形＋金メッキ
		その他指定
⑦ 電線取出口	B	G1/2（コンジットタイプ）
		その他指定
⑧ 処理	0	ナシ
	1	禁油処理
	2	禁水処理
	3	禁油・禁水処理
⑨ その他付加仕様	0	ナシ
	1	アリ （ご希望のものを別途ご指示ください。） 外装指定
⑮ ドキュメント	0	ナシ
	1	アリ （ご希望のものを別途ご指示ください。） 提出図、取扱説明書、検査要領書、 ミルシート、検査成績表（1個1部）、 検査・トレサビリティ証明書、立会検査

レンジコードを選定の上、差圧レンジ及び単位を別途ご指定ください。

・基準圧、基準圧側が低圧（L）か高圧（H）かを別途ご指定ください。

「製作範囲」
・基準圧（片耐圧）：0～100kPa
・設定方式：内部調整式

○設定目盛は、設定誤差を含みますので、正確な調整においては、必ずマスタゲージ、及び基準圧力計と比較して設定ください。

※仕様項目がない場合は、Ｘをご指定ください。